
GOAL ! !

earth

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

GOAL!!

【Nコード】

N3020Y

【作者名】

earth

【あらすじ】

ジャイアントキリングそれは、弱い物が強い物を倒すという発想。冬海中のサッカー部は、弱小であったが一人の監督によって、開花そして、強豪校へと変貌を遂げる。

自分の中じゃ、マンガ ジャイアントキリングとエリアの騎士を混ぜた感じです。

プロローグ（前書き）

サッカー好きな人は、ぜひ読んでください。

ブローグ

僕の名前は、珠海 修斗

冬海中2年生。僕の入っている部活は、

サッカー部である。僕のやっているポジションは、FW、僕も試合には出れるんだけど。このサッカー部は、弱小なんだ。

みんな、しっかり練習をやってくれないんだ。去年は、強かったけど。去年、強かった分

すっごい、期待されて、プレッシャーになって、相手チームにボロくそにやられて、それから、みんなのやる気がなくなったんだ。

〔冬海中〕

「キンコンカーンコン」

鐘と同時に僕は、ダッシュした。

今日こそ、みんなが部活をしてくれる事を願って。

プロローグ（後書き）

頑張りたいと思います。
感想待ってます。

部室で

……タッタッタッタ……

息を切らしながら修斗は、冬海中の西側にある建物を見つけた。その建物には、冬海中サッカー部と書いてある板を見てから、建物の中に入った。

「サッカーやろうぜ。」

建物の中には、ゲームをしている人やカードをしている人。マンガを読んでいる人がいた。

「サッカー？ヤダね。めんどくさい。」

こう言い切るのは、部長の織田 和樹（おだ かずき）である。MFでフィールドの魔術師と言われていた男。

「めんどくさいって、ここはサッカー部だぞ！！」

「ふん、知るかそんな事。一人でやってろ！！」

「そんな。おい！栗田、お前は、やるよな。」

「ヤンね〜。やったってどうせ勝てないし。」

こいつは、栗田 一騎（くりた いっき）
FWで俺とくむ奴だ。

「勝てないと思ってるから勝てないんだ。」

あつ俺、今いい事言っただと思っただ。

「ハハハ。何かツコ付けちゃってんの。」

「なんだとゴラァ。」

「やんのか、おい。」

辺りから『やれ〜。』だの『行け行け。』と野次が飛んでくる。

結構ケンカになり、今日は、サッカー出来なかった。

「あゝあ、今日は、サッカー出来なかった。」

修斗は、今、とほづにくれながら歩道を川に沿って歩いている。

「サッカー出来なかったんだ。」

修斗は、後ろを振り向くと知っている女の子がいた。

「なんだ薫か。」

「なんだってなによ、修斗。」

こいつは、椎名 薫。（しいな かおる）
幼稚園からの幼馴染みだ。

「いや、なんでもない。」

「そうなんだ。」

そうこうしていると修斗の家が見えた。

「じゃあ、俺は、ここで。」

「うん、じゃあね。」

「気をつけるよ。薫。」

「うん。」

〱成田空港第1ターミナル〱

ゴー、ゴー、ゴーと飛行機のエンジン音と共に男が一人トランクを引いてでてきた。

男は、「久しぶりだな。」と呟いた。

そして…ポッケから一枚の紙を取り出し目を通した。

「冬海中か……………」

男は、少し寂しい表情をした。

〱修斗の家〱

「母ちゃん、ただいま。」

母ちゃんの名前は、珠海　千恵美（しゅかい　ちえみ）

「おかえり、修斗。ご飯できてるわよ。」

「後で。」

修斗は、走り畳のある部屋に来た。

「じいちゃん、今日も話聞かせてよ。」

「そうじゃのお。じゃあ、とっておきの話をしてやる。」

じいちゃんの珠海　次郎（しゅかい　じろう）
昔に冬海中のサッカー部の監督をやっていたんだ。

「20年前の話じゃ。冬海中が、始めて
全国大会で優勝をしそうになった。決勝戦の時、相手は、鳳凰学園。
力では、圧倒的に

不利だった冬海中だったんだが、その当時
冬海中の不動のエースがいたんだよ。

でもな、みんなが、このエースばかりに頼るから、エースは、こう
言った。「勝てる試合もこんな状況じゃ、勝てない。みんなが力を
合わせて始めて奇跡がおきる、ジャイアントキリングがおきるんだ。
」ってな。

結構、チームは、崩壊、鳳凰学園にも、3-0
で負けたんだ。」

部室で（後書き）

薫は、エリアの騎士のセブンみたいな感じですよ。知っている人は、それで。知らない人は、すいません。

達海 猛

「20年前にそんな事が……」

「ああ、それでそのエースは、プロのチームから、オファーが来ていたんだ。」

「例えば？」

「本人から、聞いたわけじゃないが、多分大阪ガンナースや東京Vだったりだと聞いた。」

「名前は？」

「達海 猛。」

「ありがとう。じゃあ、また聞かせてね。」

「ああ。」

修斗は、ダッシュし、自分の部屋まで駆け上がりパソコンのスイッチを押し起動させた。

そして、yahooに接続した。

「ええっと、達海 猛っと。」

yahooの検索欄に達海 猛とうつた。wikipedia

達海 猛と出ているところをダブルクリックした。

k i p e d i a

達海 猛

W i

達海 猛

血液型 A

誕生日

1 1 月 1 6 日

東京生まれ。

冬海中元不動のエース。第32回全国中学生サッカー大会で活躍
5ゴール 7アシスト。

ジュニアユースにも招集された。

ジュニアユースでは、10番を着ていた。

その後、東京のETU（イースト トウキョウ

ユナイテッド）に加入しデビュー当時から、

華麗なプレーで観客を魅了した。

日本代表では、成田に継ぐエースとして、

フェルホーフェン監督のもとフェルJAPAN

の10番として、招集されたが怪我の為、

代表を離脱した。そして、プリミアリーグの

ウェストンハムに移籍。デビュー戦で、怪我を悪化させ、その後契

約を切られた。

修斗は、そつとパソコンを閉じた。

「すごい人なんだ……………」。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3020y/>

GOAL！！

2011年12月2日16時48分発行